

今週のモーニングセミナー報告

令和5年10月25日(水)の講話 <第963回>

テーマ：トップを支える家庭力

講師：(一社)倫理研究所 法人局 法人アドバイザー 森脇慎一様

(松浦 清貴 会長) 葉4条「万象我師」日曜日に同級生6人で「バッソ」で飲み会、刺激を受けた。47歳になり皆さんおっさん、老眼の話題に盛り上がった。昨日は高松市倫理法人会に出席、以前倫理指導を受けた、福井龍介さんの講話があったので。昨夜は、経営基礎講座で森脇様の講話でした。本当にいろいろな人に出会ってよかった。会員スピーチは安本さんです、楽しみにしています。本年度、東かがわ市のスローガン斉唱。

(安本さゆり 会員) 皆さん改めまして、会員スピーチありがとうございます。昨夜はアドバイザーありがとうございました。思った通りのアドバイス。地元で介護のケアマネージャー仕事。東かがわ市出身でしたが、若い時やんちゃを通り越していましたので、東かがわ市を避けて就職していました。生活が分からなければ、ヘルパーさんからクレームが出ると思い、ヘルパーの仕事をした。地元で求められてケアマネージャーを、後ろめたさも出て、そこを辞める。令和3年倫理法人会に会い、去年の夏父が亡くなり、悩みがあるでしょう？と言われ、二川さんの倫理指導により、お墓参り100日実践をする。小池研究員のアドバイス「感謝の実践をしてください」井ノ下さんの主人が心臓が弱い件。元気を与えられる人でありたい。

(森脇 慎一 様) 早朝から、ありがとう。安本さんはすばらしい。入り込みすぎてもいかんけど、入らなければできない大変な仕事です。ケアマネさんの仕事は。地元を愛さなければいけない、知ってもらい、かわいがってもらい、宗教じゃない先祖を大事にする。安本さんの様に会員スピーチで喋ることが大事。皆さんの前で、みんな悩みがある。みんなの知恵がある、共有すれば知恵が出る。(ホワイトボードも背面に事前に書いたメモ) <家庭の基本的役割>◎衣食住の元⇒家族健康を生み出す。◎精神的な場⇒やすらぎ、癒し、くつろぎ。◎人間的 教育の場⇒人間性向上の場 ◎祖先と心を通わせる場⇒生命力を養い、増大させる。◎人間諸活動のエメルギー源⇒発信基地。◎全ての幸福を生み出す。日本人の精神。お一列に並ぶマナーは日本人ならではの。倫理が日本を背負っている。◎家庭力向上の足掛かり ①感謝の心を持つ⇒両親や妻(夫)から頂いた恩と愛を実感。当たり前からの脱皮。 ②夫婦は一对の反射鏡⇒相手を変えようとせず自ら変わる。 ③小さな約束に力を注ぐ⇒自分や家族との約束を守ることが信頼関係のもとになる。 家庭の安定無くして企業の永続的繁栄はなし。最後にサムエル・ウルマンの「青春」朗読：<青春とは人生のある期間を言うのではなく～>

担当者：赤山 芳隆

安本さんのスピーチ

現在ケアマネージャーとして会社経営をしています。ヘルパーの仕事をしていた時のこと、不安もあつたりしたが会社を立ち上げたことについての経緯、気持ちについて話されました。また倫理法人会の会員を増やすには家庭のような会づくり、歴代会長を大切にすることを小池副方面長から倫理指導を受けたことを話されました。多くのことに取り組み行動量がはなばない安本さん、元気だなと思いました。安本さんの元気をいただきました。

森脇法人アドバイザーの話

美容室、介護施設を運営する。安本さんのスピーチをきいて森脇さんの会社にもケアマネージャーが4人いる。4人とも特徴があるという話。森脇さんは昭和24年8月生まれ。万人幸福の葉も昭和24年8月生まれなので共に生まれた。日本人は食べ物は米。今はおにぎり屋さんが流行っている。また家庭の大切さについて話され、家庭はエネルギーの源だと話されました。家庭がおろそかでは会社経営どころではないと倫理では学んでいます。私も家庭を大切にしています。経営には易、不易について話されました。変わらずにいる大切なこと、変わってはいかないといけないことの大切さ、両親、先祖を大切にすること。最後に青春という詩を読み、市の内容は年を重ねただけでは人は老いない、理想を失ったときに老いが来る。迫力ある声の中にも穏やかさのある法人アドバイザーの声でした。人生は一方通行、こんなことをやっておけばよかったと思っても取り戻すことはできないと話されたのが印象に残りました。昨日の基礎講座、モーニングセミナー講話ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

出席社数 14社 14名

次回のご案内

(モーニングセミナー)

日時：11月1日(水) 6:00~7:00

テーマ：人と人とのご縁に感謝

講話者：香川県三豊倫理法人会 幹事 Farm Future 代表 三野一美

会場：南新町自治会館2F

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp